



平成 29 年 7 月 14 日
筑後川河川事務所
九州地方整備局

梅雨前線に伴う平成 29 年 7 月 5 日出水による 花月川における浸水被害について（速報）

～平成 24 年九州北部豪雨対応『花月川激甚災害対策特別緊急事業』により、
日田市の浸水面積及び床上浸水被害を軽減しました～

- 今回の降雨により鶴河内雨量観測所を始め、多くの観測所で観測史上最大の降雨量を記録し、花月川の花月水位観測所では、観測史上最高水位を記録するなど、これまでにない規模の出水となりました。
- この出水により、花月川沿川では約 86ha の浸水被害が発生しました。
- 出水の規模は平成 24 年を大きく上回っていたにもかかわらず、現在実施中の「激甚災害対策特別緊急事業」が約 84% 進捗しており、浸水面積及び床上浸水家屋が約 3 割軽減されるなどの事業実施効果が見られました。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局

筑後川河川事務所 技術副所長 島元 尚徳（しまもと ひさのり）

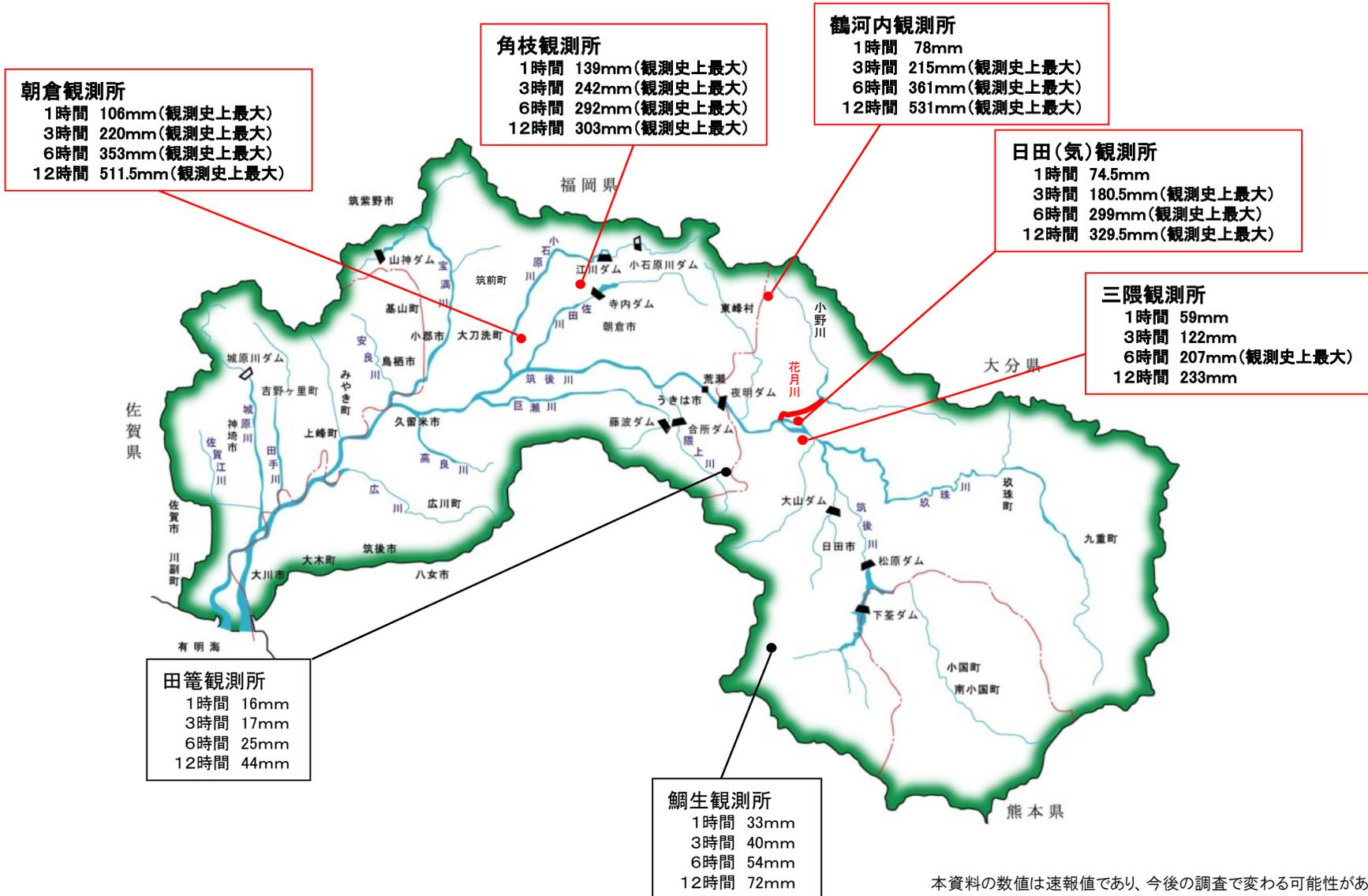
調査課長 牟田 弘幸（むた ひろゆき）

電話：0942-33-9131

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

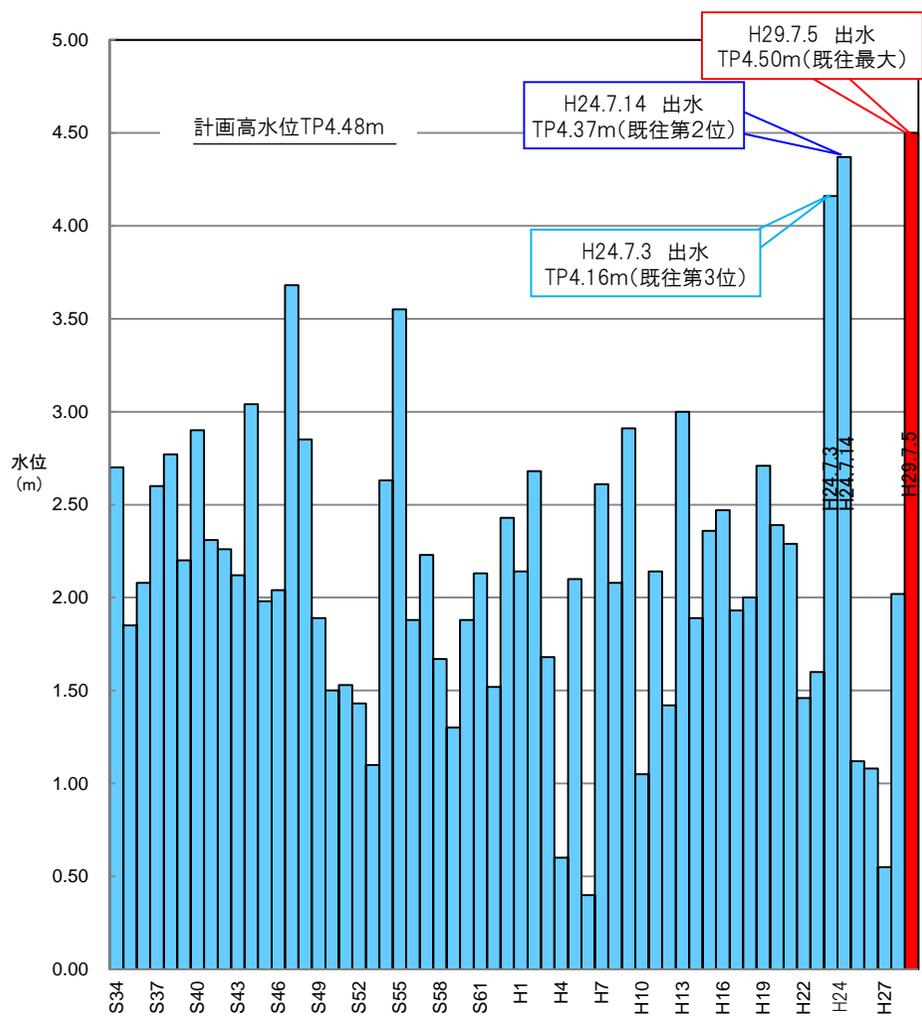
平成29年7月5日 降雨概要(筑後川水系花月川)

■梅雨前線に伴う平成29年7月5日降雨により、日田市北部において観測史上最大の降雨量を記録した。

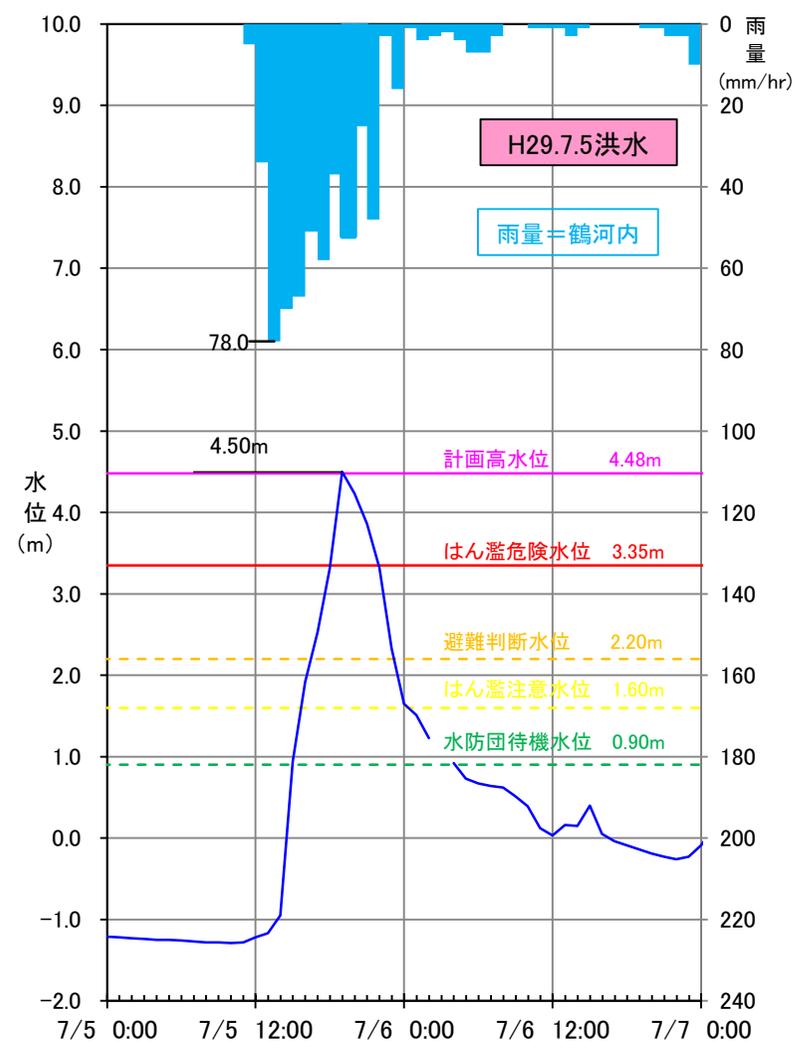


■梅雨前線に伴う平成29年7月5日降雨により、花月川で観測史上最高水位を記録した。

■年最高水位の比較(花月水位観測所:花月川3.38km地点)



■水位の状況(花月水位観測所)



本資料の数値は速報値であり、今後の調査で変わる可能性があります

■梅雨前線に伴う平成29年7月5日出水により、花月川沿川では、家屋浸水844戸、浸水面積86haの浸水被害が発生した。

		H29.7.5
浸水面積(ha)		86
家屋浸水 (戸)	床上	282
	床下	562
計		844

浸水範囲や戸数は、7月12日時点国土交通省調べ
 施設被害は表示してる箇所を含めて19箇所にて確認
 本資料の数値は速報値であり、今後の調査で変わる可能性があります



髪永地先 堤防欠損



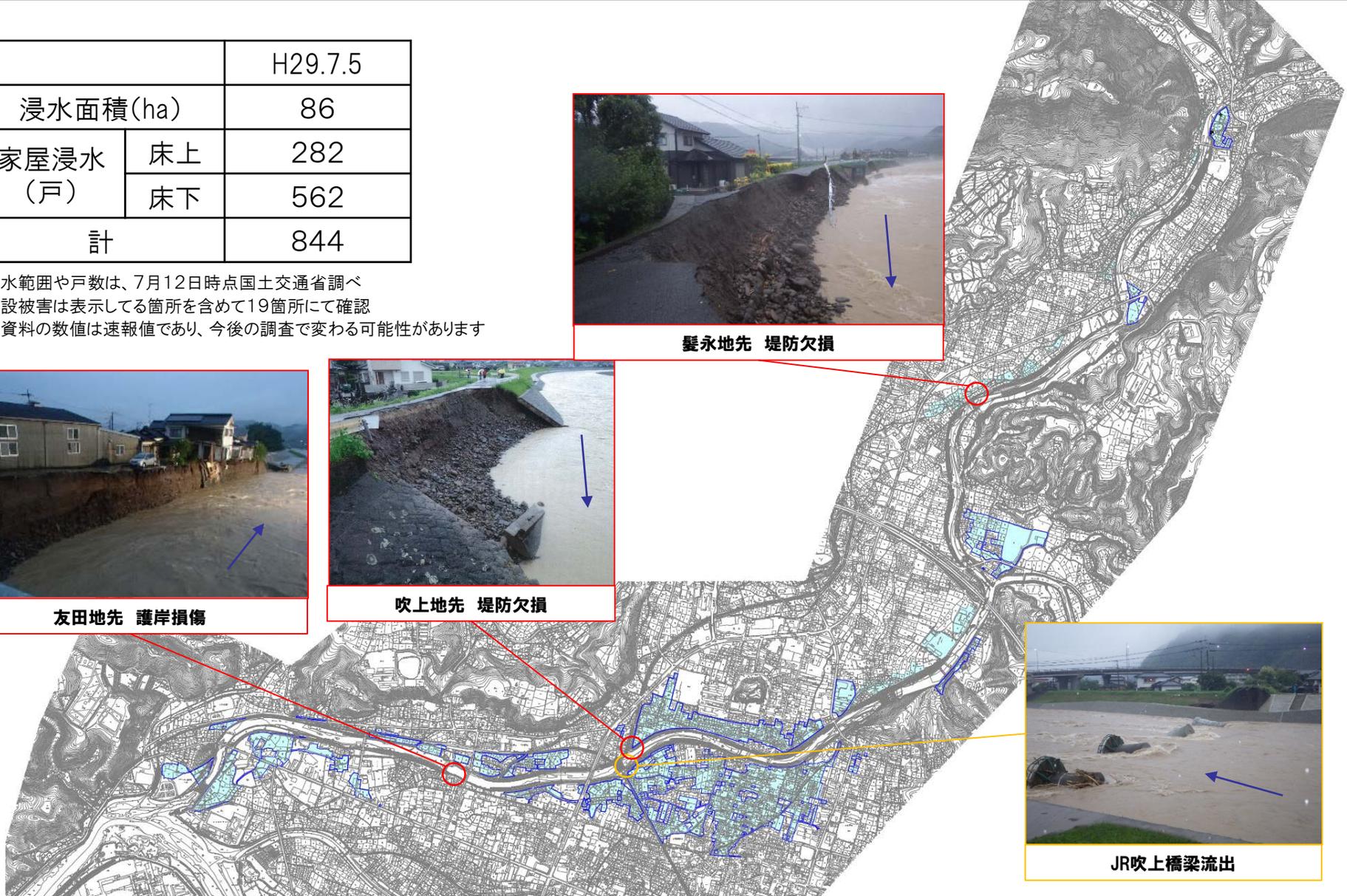
友田地先 護岸損傷



吹上地先 堤防欠損



JR吹上橋梁流出



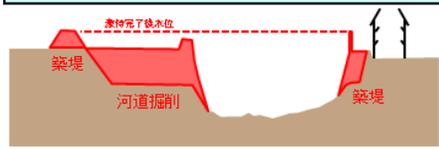
筑後川水系花月川における激特事業の効果

- 平成24年7月出水による被害を受けて、平成24年7月出水と同規模の降雨があっても氾濫が生じないように、激特事業※を実施。
- 激特事業※では、築堤(川幅を部分的に約1.5倍)、河道掘削(高水敷を約2m切り下げ)、橋梁架替、固定堰の撤去などの対策を実施することとしており、平成24年7月出水と同規模の降雨があった場合、川の水位を約1.4m程度低下させ氾濫を防止するものであり、平成28年度末までに概ね完了していた。
- 今回の大雨では平成24年7月出水と比べて約1.6倍もの降雨となったが、これまでの治水対策により浸水面積は約3割減、床上浸水家屋数は約3割減とすることができた。
- 今後、洪水の氾濫の原因を早急に解明し、関係機関とも調整を図りながら、対策について検討・着手予定。 ※河川激甚災害対策特別緊急事業

激特事業の概要

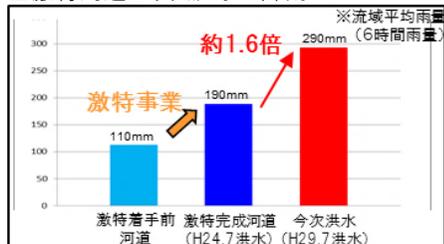
【事業概要】

- 事業内容：河道掘削、築堤、護岸、堰改築、橋梁改築等
- 期間：平成24年度～概ね5年間
- 全体事業費：9.7億円



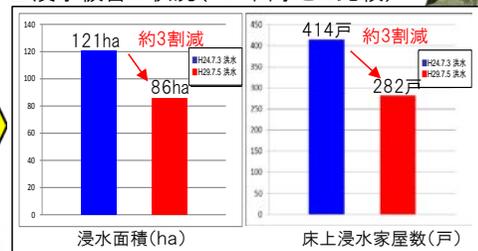
河道掘削、築堤及び横断工作物の改築により、平成24年7月出水と同規模の降雨に対して氾濫を防止

激特河道と今次洪水の降雨



※本資料の数値は速報値であり、今後の調査で変わる可能性があります

浸水被害の状況(H24出水との比較)



※本資料の数値は速報値であり、今後の調査で変わる可能性があります

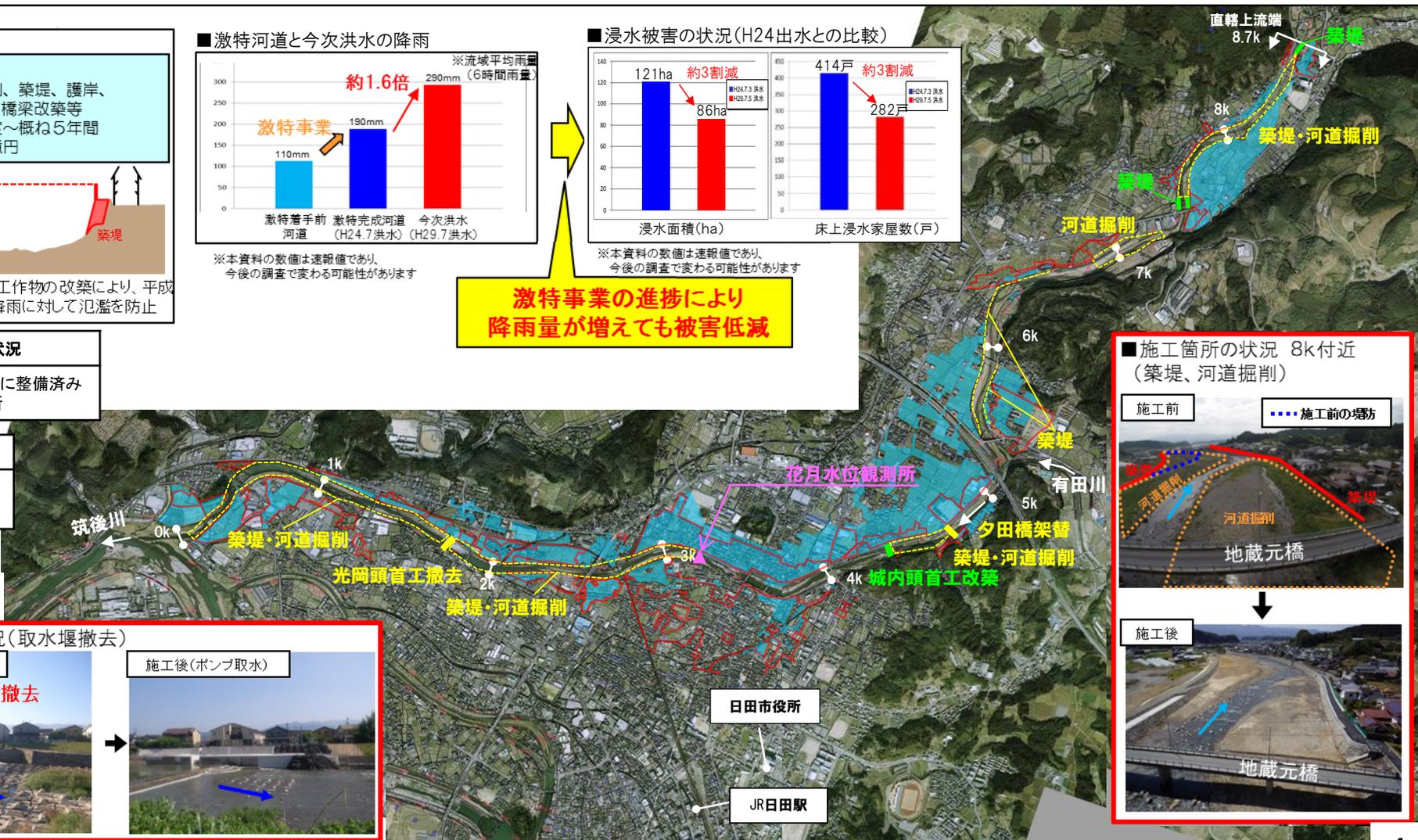
**激特事業の進捗により
降雨量が増えても被害低減**

激特の整備状況

- H28年度までに整備済み
- H29整備箇所

凡例

- H24浸水範囲
- H29浸水範囲



■ 施工箇所の状況 8k付近 (築堤、河道掘削)



■ 施工箇所の状況 (取水堰撤去)

